

感染症情報 5月27日～6月2日

府下小児科195医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,192例	(堺市 114例)
②感染性胃腸炎	1,116例	(堺市 109例)
③溶連菌感染症	799例	(堺市 94例)
④RSウイルス感染症	168例	(堺市 11例)
⑤咽頭結膜熱	167例	(堺市 10例)

府下303医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 48例(堺市 1例)

報告数による順位。前週比7.6%増の3,786件であった。手足口病が府下で40%増、堺市で前週65例→今回114例であった。大阪府の定点あたりは4.35→6.11、堺市で3.42→6.00となり、ともに警報レベル開始基準値5を超えた。感染性胃腸炎が府下で前週比5%減、堺市で前週112例→今回109例。溶連菌感染症が府下で4%減、堺市で前週115例→今回94例。定点あたり、大阪府が4.10、堺市が4.95であった。RSウイルス感染症が府下で33%減、堺市で13例→11例であった。咽頭結膜熱が府下で8%増、堺市で前週8例→今回10例であった。

全数把握はしていない、大阪府で約17基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎が4週連続で報告数10を超え、特に堺市ブロックだけで11例の報告ありと注意喚起があった。

インフルエンザが府下で前週76例→今回48例で前週比37%減であった。堺市で前週8例→今回1例であった。

府下303医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 664例(堺市 79例)
大阪府定点 2.19 堺市定点 2.72

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
26	35	18	71	84	55	70	79	70	75	81	664

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回692例→今回664例で4%減、定点あたり2.28→2.19。堺市で前週84例→今回79例は6%減、定点あたり2.90→2.72となった。

風疹の報告なし。麻疹の拡大が懸念されているが、報告はなし。